



藤沢市公立学校教職員バレーボール 決勝大会

男子辻堂小 チーム一丸となって大躍進! 女子大鋸小 昨年度の悔しさバネに優勝!

2018 年度藤沢市公立学校教職員バレーボール大会（主催：藤沢市教委 主管：湘南教組）の予選が8月29日（水）に開催されました。その予選を勝ち上がった女子8チーム、男子12チームにより、9月1日（土）に秋葉台文化体育館にて決勝大会が行われ、見応えのある素晴らしい試合が繰り広げられました。☆運営委員の皆さん、各会場校の皆さん、試合や抽選会の運営にご協力を頂きありがとうございました☆

【女子の部】 昨年の決勝大会出場校のうち、予選を勝ち抜いたのは、白浜養護と大鋸小のみ。

オリジナルの円陣を組んで、気合いを入れたり、ピンチの場面も互いに声を掛け合っ、ムードを盛り上げたりと、どのチームも、チームワークが光っていました。激戦の末、決勝に駒を進めたのは、大鋸小と本町小。3位は、秋葉台小と湘南台小でした。

決勝戦 本町小vs大鋸小

本町小 VS 大鋸小		
15	—	21
21	—	18
10	—	15

序盤は本町のエース78番と大鋸のエース7番が打ち合う展開。本町小は、立ち上がり、よく拾っているが、つなぎに苦戦したため、大鋸がリードした。

本町は、全体的によく声が出ていて、盛り上げている。また、78番と8番がよく拾っていた。大鋸の7番は、よくコースを見極め、随所で多彩な攻めを見せる。中盤、途中の選手交代のあと、連続ポイントで、挽回し、一時は2点差となる。しかし、終盤、本町小エースのスパイクを大鋸はブロックで止め、最後は22番が、サービスエースを決め、大鋸小が21対15で1セット目を取った。

第2セットは、本町小のムードメーカー8番のサービスエースから始まった。両チームとも、ベンチからの声援も激しく盛り上がった。両チームのエースがさまざまなコースにスパイクを打ち込むが、よく拾い、つなぎが安定してきたため、ラリーが続き、一進一退が続く。中盤は、大鋸の7番が、長め、短めとコース打ちで、連続ポイントを重ねる。本町は8番の活躍が光る。互いのエースが打ち合うも、堅い守りで、なかなかきまりにくくなる。最後まで、本町が明るいムードで乗り切り、本町小が21対18で2セット目を取った。

第3セット、大鋸は明るく声を掛け合う。本町は、全員が手をつないで気合を入れる。本町のブロックが決まる。全員でつなぎ、1、2ゲームよりも一段高いレベルのラリーとなった。両者とも、勝利への執念が見られる。特に大鋸の45番のレシーブは、すばらしい。10-10から、大鋸20番のサービスエースで勢いがつき、本町も粘りのプレイを見せたが、大鋸が攻撃の手を緩めず、15対10で3セット目を取り、大鋸が2-1で勝利した。

優勝 大鋸小学校



昨年、準優勝だったので今年優勝できて、良かったです。チームが最後まで団結して、いい雰囲気でした。練習を通して、去年より、一人ひとりのレベルが上がりました。

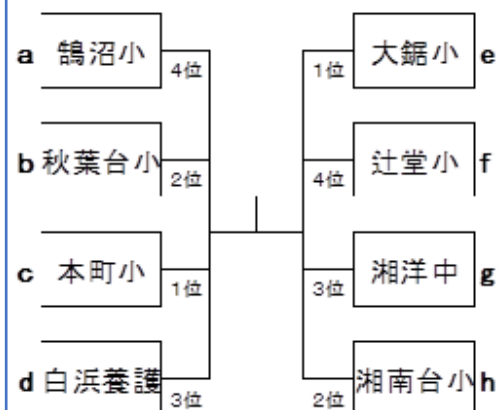
試合では、誰かがボールを落としそうになったら、全員がボールを拾って、カバーする、全員バレーで、勝利しました。

キャプテン

加藤 結理さん



2018年度 藤沢市教職員バレーボール大会、女子決勝大会



優勝 大鋸小
準優勝 本町小
3位 湘南台小 秋葉台小



左から本町小、湘南台小、秋葉台小

【男子の部】

今年のベスト4は、湘南台小、御所見小、滝の沢中、辻堂小という顔ぶれ。昨年のベスト4の3校に、辻堂小が挑む形となりました。湘南台小の2連覇か？御所見小、滝の沢中が念願の優勝を果たすのか？それとも……。実力が拮抗した熱戦が繰り広げられる決勝トーナメントとなりました。

準決勝では、湘南台小が御所見小を2-1、辻堂小が滝の沢中を2-1で下し、決勝で顔を合わせました。

決勝戦 湘南台小 VS 辻堂小

湘南台小は、しっかりとした守備からボールをレフトのエース1番に集め、攻撃していくスタイル。辻堂小は4番を中心とした守備からセンターエースの8番が得点を決める攻撃スタイル。それぞれのエースが放つ強烈なスパイクをいかに止めて攻撃につなげるか、似たタイプ同士が正面からぶつかる試合となった。

1セット目。序盤は両エースの打ち合い。一時、湘南台小がリードを奪ったが、辻堂小4番の粘り強いレシーブから流れは辻堂小へ移った。湘南台小はたまたまタイムアウト。直後に辻堂小のセッター29番がけがを負い交代することに。流れが再度変わるかと思われたが、8番の連続スパイクなどで突き放し、15-21で辻堂小が先取した。

2セット目。辻堂小の3連続得点から始まる。1セット目の勢いはそのままに見えたが、湘南台小は18番の伸びのあるサーブから連続5得点。辻堂小も21番の好サーブで追い上げる場面もあったが、1番のスパイクに加え、9番のスパイク、ブロックと多彩な攻撃。21-13と湘南台小が巻き返した。

運命の3セット目。辻堂小は途中交代で入ったセッター21番の左右にリズムよく上げるトスから8番のスパイクが再び輝きを放つ。湘南台小も負けじと粘り強いレシーブから1番のスパイクで応酬。激しいラリーに会場が騒然となる場面も見られた。最後は9-15で3セット目を奪い、辻堂小が力と力の試合を制し、見事優勝を果たした。

優勝 辻堂小学校

親睦か？優勝を目指すのか？実力ある選手がいることで、そこから話し合いました。いろいろな考えがあり、方向性がまとまらず、職員間の雰囲気作りは難しかったです。でも、大会を通じて感じたことは「みんなでバレーをすることは好きで、楽しい」ということ。試合を重ねるごとにチームワークも高まり、最後は優勝という結果をみんなで喜びました。湘南大会でも力を合わせてがんばります。

キャプテン 藤平智大 さん 



左から湘南台小、滝の沢中、御所見小